| 事業所名 | 放課後等デイサービス　つなぐ | **支援プログラム** | 作成日 | 2025 年 | 2 月 | 14 日 |
|---|---|---|---|---|---|---|

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | 事業所の名前のとおり人と人とを『つなぐ』、社会と『つなぐ』を大事にすることを基盤にしています。<br>障がいのある子ども達が日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応出来るよう、身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適正かつ効果的な支援及び訓練を行う事を理念に掲げています。<br>また、障がいのある子ども達だけではなく保護者の方の心身のリフレッシュを図り日常生活が向上できるために支援をしたいと考えています。 | | | | |
| 支援方針 | つなぐでは、子ども達の持てる力や可能性を見出し、それをどのように伸ばしてあげられるかを考えながら、環境を整え支援を行い成長の手助けになりたいと考えています。<br>子ども達には様々な経験・体験ができる機会を作れるように、室内活動に留まらず外出等の野外活動も積極的に取り入れるように計画をしていきます。<br>また、保護者の方とも相談のしやすい関係作りを心がけ、子ども達の情報共有を密にし、最適な支援の提供につながるように連携を図っていきます。 | | | | |
| 営業時間 | 10 時 30 分から 17 時 30 分まで | | 送迎実施の有無 | （あり） | なし |

| | | 支　援　内　容 |
|---|---|---|
| 本人支援 | 健康・生活 | ◆健康状態の維持・改善・変化の早期発見<br>・活動や生活支援の際に全身状態の観察を行い、疾患による症状はもちろん体調の変化の早期発見・対応に努めます。<br>・子どもの医療的ケアは看護師および医療的ケアの研修を受けた指導員が行います。<br>◆生活動作の獲得、生活習慣や生活リズムの形成<br>・生活動作の獲得に向けて、個別性に合わせて伝え方や方法を工夫し、「できた」という成功体験を重ねながら楽しいや嬉しいと感じれるように支援をしていきます。<br>・遊びの時間、ご飯・おやつの時間、トイレの時間等スケジュールを日課化して生活リズムが整うようにします。 |
| | 運動・感覚 | ◆姿勢と運動、動作の基本的技能の向上・獲得<br>・自力での姿勢保持ができない場合でも、介助によって座位や立位の姿勢をとれるように支援をします。<br>・子ども達には訓練ではなく遊びを通して自然と身に着けられるように楽しく継続できるように努めます。<br>◆感覚への刺激<br>・音の鳴るものや、様々な素材のおもちゃ、ボールプールや、バランスボールなど、成長や好みに合わせたものを選択し、視覚・聴覚・触覚等の感覚刺激を与えていきます。 |
| | 認知・行動 | ◆認知能力向上・獲得<br>・子ども達の認知力（スキル）に合わせた指示や促し方を工夫します。<br>・物の名前や色、形、数など認識につながるように、おもちゃや教材を活用しながら教えていきます。<br>・各場面においてのルールやマナーなどの理解やそれに基づいた適切な行動形成につながるように支援をしていきます。 |
| | 言語<br>コミュニケーション | ◆コミュニケーションの基礎的能力の向上（言語の形成と活用、言語の受容と表出、コミュニケーション手段の選択と活用）<br>・発語困難な場合であっても、表情や目線、ジェスチャーやサイン、身振り、カードの使用をし個人の特性に合わせたコミュニケーション方法を選択します。<br>・沢山言葉かけを行い、遊びや生活動作を通して言葉に触れていきます。<br>・人との相互作用によるコミュニケーション能力を獲得できるように、子ども達同士で関われる機会を提供します。<br>・コミュニケーション意欲につながるように、伝わったという成功体験を重ねることで伝わる喜びを感じてもらい伝えたい気持ちを育みます。 |
| | 人間関係<br>社会性 | ◆アタッチメント（愛着）の形成、人間関係の形成<br>・環境や人に慣れるように環境調整や信頼関係の構築をし、子どもにとって安心ができ居心地のいい場所となるように努めます。<br>・子ども同士（同年代、他年代）や大人（職員）との関りを通して、仲間つくりや他者との協調性や社会性の発達に繋がるように支援をします。 |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 家族支援 | ・安心して通所して頂けるように、発達状況の共有や子育てに対する相談などをお受けします。<br>・保護者の就業状況やご兄弟の行事などご家庭のご都合に合わせて利用日や利用時間の変更など可能な範囲で対応します。 | 移行支援 | 卒業後のライフステージに向けて、就学や就職等の進路の相談や提案を行い、関係機関と情報共有をしたり連携をしていきます。 |
| 地域支援・地域連携 | ・相談支援事業所や関係機関、学校、他事業所等と情報の共有を行い、連携を密に図ります。<br>・周辺の公園や商業施設等への野外活動を通して、事業所近隣の環境をしり交流を図れるように支援します。 | 職員の質の向上 | 適宜研修を実施をします。 |
| 主な行事等 | 春：花見　　夏：プール　　秋：ハロウィン　　冬：クリスマス会<br>長期休暇時：クッキング、遠足<br>その他：お誕生日会 | | |